



**2025年6月21日
第52回 定時株主総会
事業報告**

ぴあ株式会社
PIA CORPORATION

◆はじめに

ぴあグループでは、2022年の第49回定時株主総会において“ひとりひとりが生き生きと”した社会の実現を目指す「企業理念」を定款に加筆いたしました。

事業継続のための利益を求める「経済性」とともに、あり得べき社会の姿を求める「趣旨性」の両立を図りながら、エンタテインメントを通じて、多くの人々を元気づけ、心を癒す“感動のライフライン”の構築を目指すことを、当社グループのビジョンに掲げております。

こうした理念に基づいて活動して参りました2024年度について、ご報告させていただきます。

[A] 2024年度業績の概要

- 1. 決算のポイント**
- 2. 業績について**
- 3. 配当について**

[B] 中期経営計画(2023~2025年度)

[C] 感動のライフライン事業の構築に向けた 2024年度の取り組み

1.決算のポイント

- ①集客エンタテインメント市場は、大規模会場・大型興行の増加、チケット単価の上昇により想定を上回り、コロナ禍前を大幅に超える勢いで好況に推移
- ②夏フェス、スポーツ、花火大会等の大型イベントの主催、チケット販売の増加、ぴあカード会員の拡大、「ぴあアリーナMM」の堅調な稼働などを追い風に、取扱高は2,700億円規模となり、過去最高
- ③システム運用費やセキュリティコスト・取引先への支払い手数料の増大、物流費や人件費等の高騰を受け、2006年のチケットぴあサービス利用料の導入以来初めて、昨年10月より一部料金を改定
- ④「デジタルメディア・データマーケティング事業」「ホスピタリティ事業」「グローバル・イベント事業」など、新規事業への投資の成果が表出し、営業利益・経常利益・当期純利益の全てで前期を上回り、過去最高を更新

	【前年度】	【2024年度】	【前年度差】
→ 売上高	39,587	45,362	+5,775
売上原価	25,886	28,426	+2,540
差引売上総利益	13,700	16,936	+3,236
販管費	12,490	14,300	+1,810
→ 営業利益	1,209	2,636	+1,427
営業外収益	175	250	+75
営業外費用	462	508	+46
→ 経常利益	922	2,378	+1,456
特別利益	146	-	-
特別損失	173	469	+296
税金等調整前当期純利益	895	1,908	+1,013
法人税等合計及び非支配株主利益	△219	317	+536
→ 親会社株主に帰属する当期純利益	1,118	1,591	+473
包括利益	1,122	1,568	+446



[単位:百万円]

資産の部		
	【前年度】	【2024年度】
現預金	33,919	46,301
売掛金	28,817	27,774
商品等	91	119
その他	3,987	5,468
流動資産：前年度比12,848増加		
→ 流動資産	66,814	79,662
有形固定	12,212	11,634
無形固定	5,914	5,951
投資その他	5,329	4,901
固定資産：前年度比969減少		
固定資産	23,456	22,487
→ 資産合計	90,271	102,150

負債の部		
	【前年度】	【2024年度】
流動負債：前年度比11,171増加		
流動負債	65,094	76,265
固定負債	19,632	18,645
負債合計	84,726	94,910
純資産の部		
資本金	6,444	6,468
資本剰余金	2,610	2,634
利益剰余金	△2,465	△874
自己株式	△1,063	△987
他包括利益	18	△5
非支配株主持分	-	3
純資産合計	5,544	7,239
負債純資産合計	90,271	102,150

2.業績について ③連結キャッシュフロー

[単位:百万円]

	【前年】	【2024年度】	【前年度比】
税引き前当期利益	895	1,908	+1,013
減価償却費	2,497	2,657	+160
売上債権の増減	△7,204	1,044	+8,248
仕入債務の増減	14,320	5,513	△8,807
その他	1,987	4,654	+2,667
利息・税金等	△120	△440	△320
→ 営業キャッシュ・フロー	12,375	15,336	+2,961
無形固定資産の取得	△1,456	△1,757	△301
その他	△760	△175	+585
投資キャッシュ・フロー	△2,216	△1,932	+284
財務キャッシュ・フロー	△2,596	△1,022	+1,574
キャッシュの増減	7,563	12,381	+4,818
→ 現預金残高	33,919	46,301	+12,382

3. 配当について



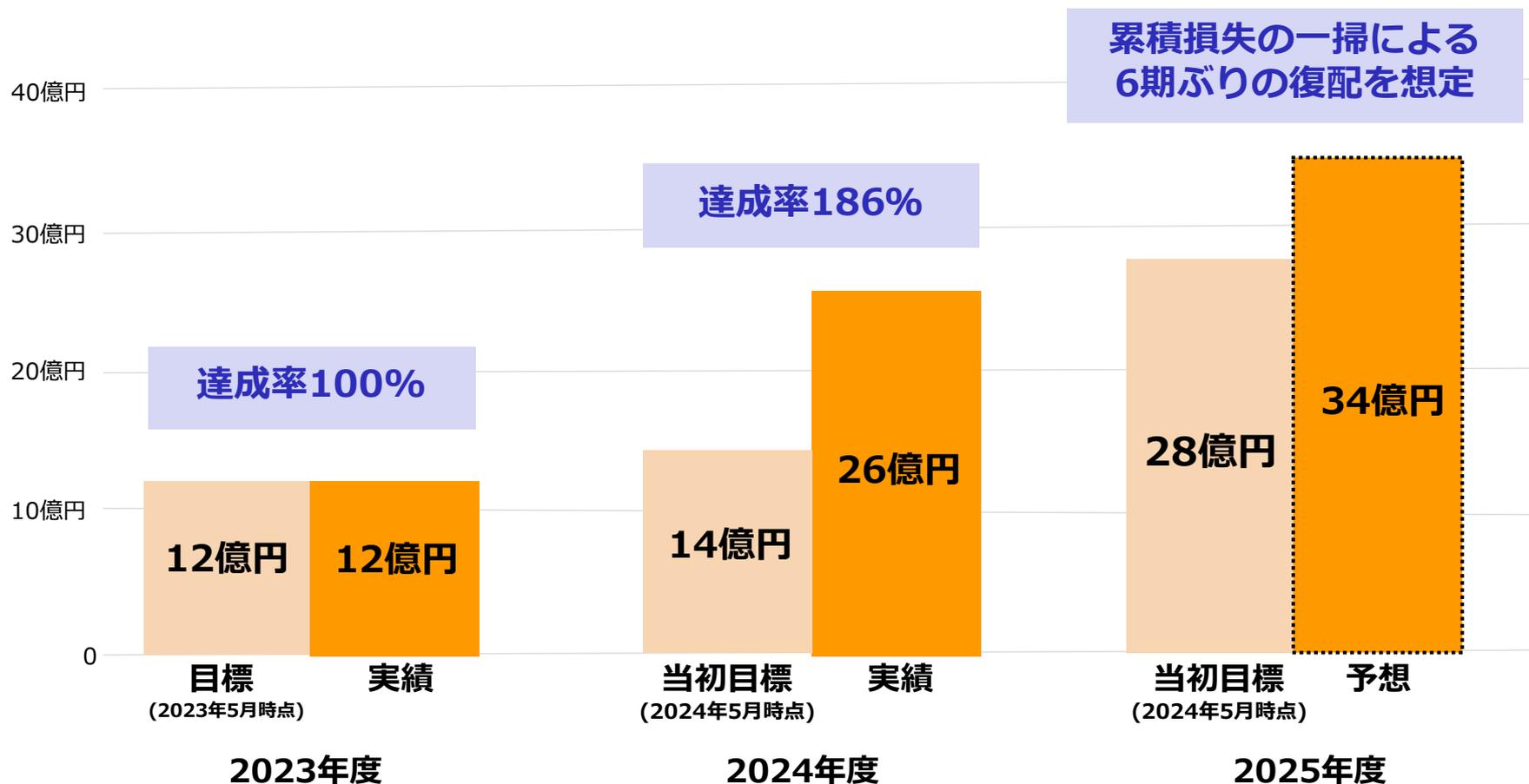
誠に申し訳ございません。

2024年度は、期初想定を大幅に上回る業績を達成したものの、コロナ禍による多額の累損の解消までには至らず、誠に遺憾ながら当期の配当については、無配とさせて頂かざるをえない状況です。

2025年度中の累損一掃と復配の実現を目指しており、次期配当予想は、現時点では1株当たり10円としています。

何卒ご理解いただけますようお願いいたします。

【営業利益目標の推移】



[C] 感動のライフライン事業の 構築に向けた2024年度の取り組み



ぴあグループでは、企業理念「ひとりひとりが生き生きと」にもとづき、「はじめに遊びがあった」を事業活動の原点として、「感動のライフライン」の構築を目指してきました。

「感動のライフライン」は、私たちの生活になくてはならない、文化芸術・エンタテインメント・スポーツといった、「集客エンタテインメント産業」が、サステナブルであり続けることを支えます。

そして、誰もがそれを自由に享受できる社会を目指します。同時に、それらの作り手たちをリスペクトし、応援します。

※参考資料～ライブエンタメ市場の将来予測～

集客エンタメ市場はV字回復。大規模イベント増と平均単価の上昇を追い風に、この傾向は今後も続くものとみられ、2030年の市場規模は約7,600億円に達すると予測

年平均成長率(2011～2019年) : 9.4%

成長率(2023～2030年) : 1.5%



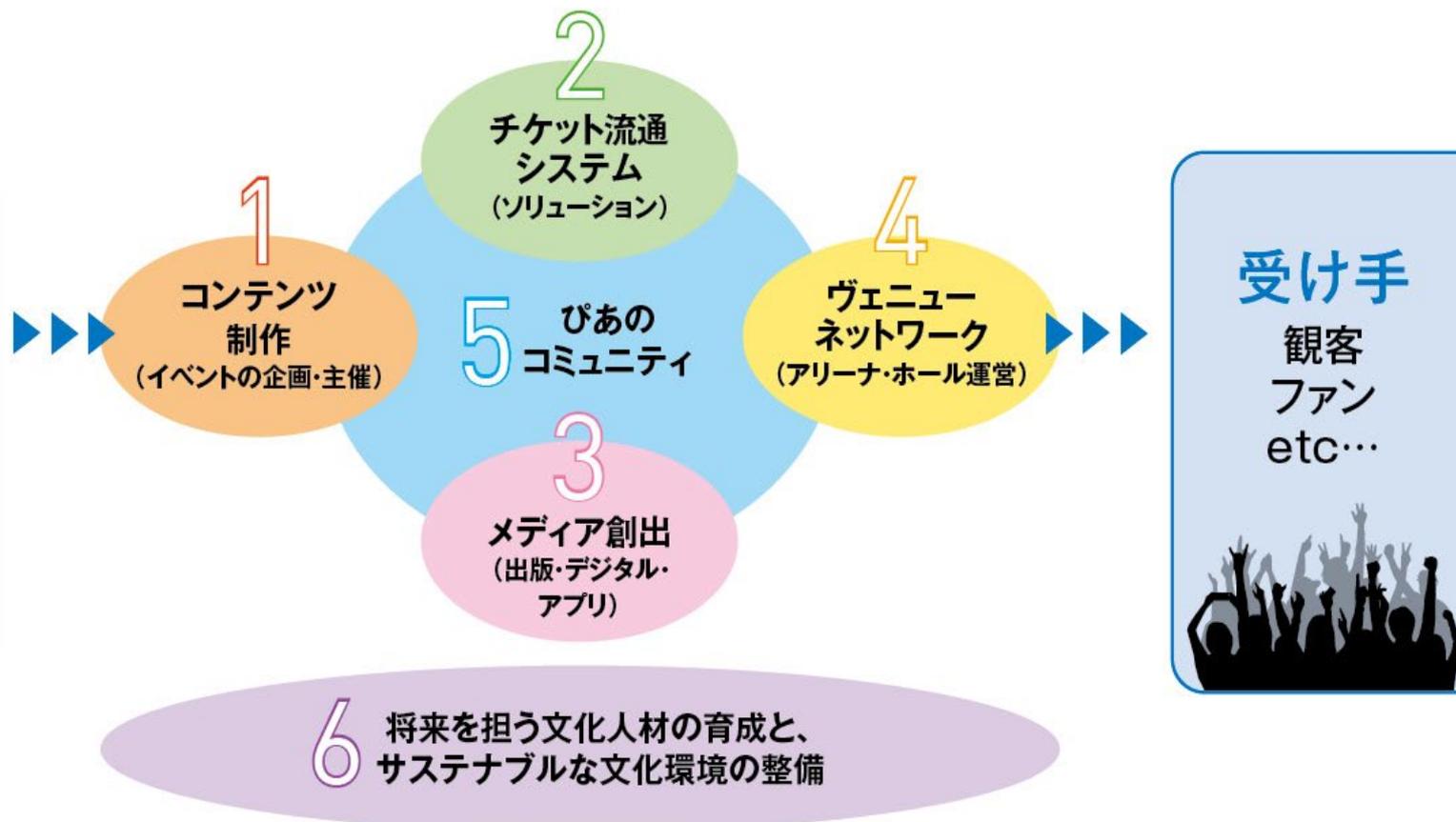
将来予測(2024年12月推計)

出典 : ぴあ総研「エンタメ白書」

“感動のライフライン”事業の基本構造



“感動のライフライン”事業の基本フレーム

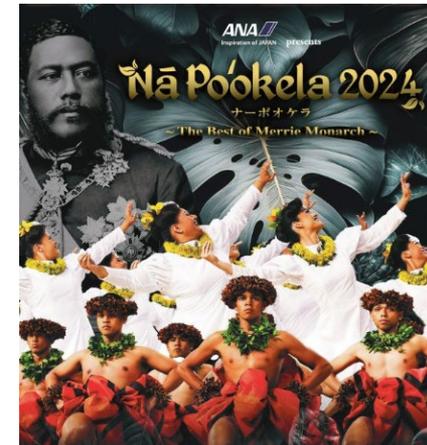


(1)コンテンツ制作

国際的な音楽フェスから地域密着型の企画など、年間計600本を超える興行・イベントを企画、主催、運営



撮影:岸田哲平



PIA MUSIC COMPLEX 2024(ぴあフェス)

全国のパン屋さんを集めた「パンのフェス」

最大級のフラダンスコンテスト



都心で唯一、最大の「神宮外苑花火大会」



第3回「国立競技場 ENJOYリレーマラソン」



KPOP音楽祭「2024 MUSIC BANK in JAPAN」



「MJF(モントルー・ジャズ・フェスティバル)」

(2)チケット流通システム

基本的なチケット流通システム

チケットぴあ

- ①取扱い興行数：約16万件
- ②年間のチケット発券枚数：約8,500万枚
- ③取扱高：約2,400億円
- ④全国の発券ネットワーク：約3万8千ヶ所
- ⑤チケットぴあの登録会員数：約2,200万人
- ⑥システム提供先：約250社

国際的イベントのソリューション



関西万博のチケットング業務を全面的に受託。ぴあの仕組みを活用した「EXPO Quick（エキスポクイック）」もスタート



WORLD ATHLETICS
CHAMPIONSHIPS
T O K Y ● 2 5

OFFICIAL EVENT SUPPORTER

「東京2025世界陸上」のオフィシャルサポーターとして、チケット販売業務全般を受託

新規事業の「ホスピタリティチケット」も順調に拡大

ワンランク上の感動体験を提供する「ホスピタリティプログラムチケット」も、多数の興行で黒字化を達成。市場の拡大とサステナビリティ強化を図る



ピッチでの練習見学
(国立競技場ラグビー日本代表戦)



試合終了直後にコート内で記念撮影
(ジャパンオープンテニス)



ラウンジ内にて出演者やスタッフと交流
(新国立劇場バレエ「ジゼル」)

(3)メディア創出（出版・デジタル・アプリ）

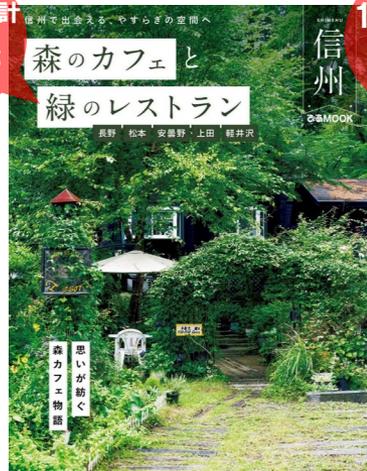
新たな切り口の創出や、異業種アライアンスによる、メディア商品の多角化を実現

発行部数
80万部



万博公式ライセンス商品
「大阪・関西万博ぴあ」

シリーズ累計
46万部



自然の中のカフェを紹介
する人気のシリーズ

10エリア
で発行



自治体・関連企業と連携し、
全国10の地域で発行

異例の10刷
13万部発行



人気アーティストの公式本は、
異例のロングセラーに

アプリ版「ぴあ」の進化

情報誌『ぴあ』のコンセプトを引き継ぎ、エンタメとの“偶然の出会いと発見”を提供する「アプリ版ぴあ」は、スタートから6年半で“ぴあニスト(アプリ会員)”登録者数が約165万人を突破、WEB版も展開。「パーソナライズ」をテーマに、株主様には無料でお楽しみいただける有料会員向けの特典・サービスも拡充



(4)ヴェニューネットワーク (アリーナ・ホール運営)

日本初の民設民営の大規模アリーナ「ぴあアリーナMM」や、ライブハウス「豊洲PIT」「仙台PIT」に続き、新たなエンタメ拠点「八重洲 新劇場・カンファレンスホール(仮)」の運営も



1万人収容の「ぴあアリーナMM(横浜・みなとみらい)」

東京駅八重洲口「TOFROM YAESU TOWER」内にぴあ運営の劇場・カンファレンス施設が開業予定



800人収容の劇場客席



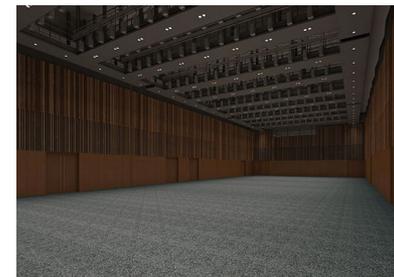
豊洲PIT(東京)



仙台PIT(宮城)



TOFROM YAESU TOWERの外観



カンファレンス施設



(5)ぴあのコミュニティ

“感動のライフライン”を繋ぐぴあのコミュニティ



① チケットぴあ

日本最大のチケット販売プラットフォーム。登録会員「ぴあ会員」数は約2,200万人、取引先は約4万5千社、ソリューション提供先は約250社



② ぴあカード

チケットの先行販売や当選率アップの特典、割引サービスの適用など、エンタテインメントファンの活動をバックアップする、ぴあならではのカードサービス。会員数は現在約35万人



③ アプリ版ぴあ

スタート以来6年半で、“ぴあニスト(アプリ会員)”登録者数が約165万人、「ぴあアプリ/WEB」も展開中



④ PANX(ぴあ朝日ネクストスコープ)

朝日新聞との協業によって設立した「ぴあ朝日ネクストスコープ」は、双方の強みを生かした広告商品を多角化

(6)将来を担う文化人材の育成と、 サステナブルな文化環境の整備～ぴあ総研～

ぴあ総研による産業と文化の育成「シンポジウムを通じた地域創生」

第4回ぴあ総研シンポジウム in 京都



ぴあ関西40周年記念イベント

文化と経済の対話から考える 未来のかたち ～文化芸術・エンタメ・スポーツの 持続的発展を目指して～

文化芸術・エンタテインメント・スポーツは、いまや経済社会を支える重要な存在として国際的に再評価されています。一方で、日本の一人あたり文化GDPは先進諸国の中でも最低水準にあり、文化と経済との間には、なお大きな隔りがあるのが現状です。本シンポジウムでは、「文化芸術とエンタテインメントとの間に境界はあるのか」という問いを起点に、文化芸術・エンタメ・スポーツの持続的な発展の在り方、ならびに社会課題の解決における役割について多角的に議論します。そして、文化と経済社会が相互に作用し合う「循環型エコシステム」の構築を志向し、「文化芸術・エンタメ・スポーツを“SDGs18番目”に」という社会提言を昇華させていくことをめざします。



龍谷大学大宮キャンパス本館(滋賀文化財)

◀2022年より毎年、「集客エンタメ産業の未来に向けた、社会的意義と本質的価値」についてシンポジウムを開催。第4回目の今年は、6/23(月)に京都・龍谷大学にて開催(事前申込制)

18 文化芸術・エンタテインメント・スポーツで心豊かな暮らしと社会を



『SDGs 18番目の目標』

◀ぴあグループでは、SDGsの17の大目標に加えて、心豊かな暮らしと社会のために、あらゆる人々の「文化」的活動を強化・支援することを提言

東京藝術大学(東京)、龍谷大学(京都)との共同研究や産学連携により、エンタメの体験価値の向上、次世代の文化価値創出や人材育成を推進

▲東京藝術大学とは、ウェルビーイングの深化を目指す共同研究をスタート、龍谷大学とは、文化・芸術・エンタメ・スポーツなどを通じた、次世代を担う人材の育成を共に推進

ぴあ総研活動報告

パネルディスカッション

文化芸術・エンタメ・スポーツと経済の好循環とは



吉澤保幸
ぴあ総合研究所株式会社
代表取締役社長



都倉俊一氏
文化庁長官



日比野克彦氏
東京藝術大学学長



烏井信吾氏
サンダーレーシング株式会社
代表取締役副会長



笹井裕子
ぴあ総合研究所株式会社
取締役社長



岡田武史氏
株式会社今治、スポーツ
代表取締役会長



鈴木寛氏
東京大学教授
慶應義塾大学SPC特任教授

ご招待
(参加費無料)

2025.6.23 [月] 13:30→16:00 13:00開場



主催: **ぴあ総研** 協力: **RYUKOKU UNIVERSITY** 会場: 京都市 龍谷大学大宮キャンパス本館

【ご招待】
お申し込み
はこちら

右のQRコードまたは、下記URLからお申し込みください。

<https://forms.gle/HMo1YEnB4sirvCFH6>



お問い合わせ先 | ぴあ総合研究所株式会社 E-mail: pia@pia.co.jp (受付時間 10:00~17:00 土日祝除く)

(6)将来を担う文化人材の育成と、 サステナブルな文化環境の整備～PFF～



PFF(ぴあフィルムフェスティバル)による、創業来の文化の育成、人材の支援

「PFFアワード2024」では、中学生監督が初入選



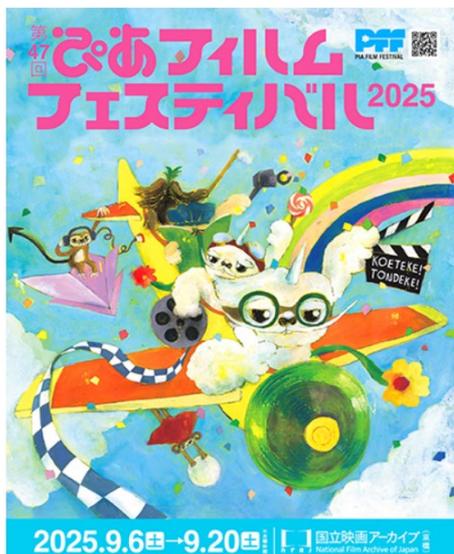
▲中学生で初入選した
ひがし沙優監督



▲昨年のPFFアワード表彰
式での受賞者と審査員



◀ 第6回大島渚賞
は「ナミビアの
砂漠」の山中瑤
子監督が受賞



今年の「PFFアワード
2025」の応募作品数
は、史上2番目の795
本に(9月に国立映画ア
ーカイブで開催予定)

◀ 出品料の無料化で10代
の応募数は1.5倍に増加

JAL機内プログラムではこれまでの
PFFアワード受賞作を上映中



JAPAN AIRLINES



日本航空(JAL)の国際線&国内線全便で、
PFFアワードの受賞作を機内上映中

(6)将来を担う文化人材の育成と、サステナブルな文化環境の整備～その他～



全国の電子図書館サービスに「ぴあ落語 ざんまい」の高座映像の提供をスタート



落語映像のサブスクサービス「落語ざんまい」では、約3千本の高座を収録、全国の自治体と連携し、落語文化のさらなる発信と継承を目指す

ぴあ独自のスポーツビジネスプログラムを開講中。スポーツ業界の人材育成を推進



ぴあ SPORTS BUSINESS PROGRAM

- スポーツビジネス界の即戦力になる
- ピッチ外の選手になる
- スポーツの原理・原則を学ぶ

各界の講師を招いた実地見学など、独自のプログラムで即戦力を養う

札幌に開発拠点を設置・エンジニア職(正社員)の採用を開始



札幌にIT開発拠点「ぴあテックラボ」を新設。地方在住の優秀な人材が、その出身地や首都圏以外の地域でも働くことができる拠点を作り、Iターン・Uターンを含めた雇用を創出

パラ・デフアスリート採用をスタート

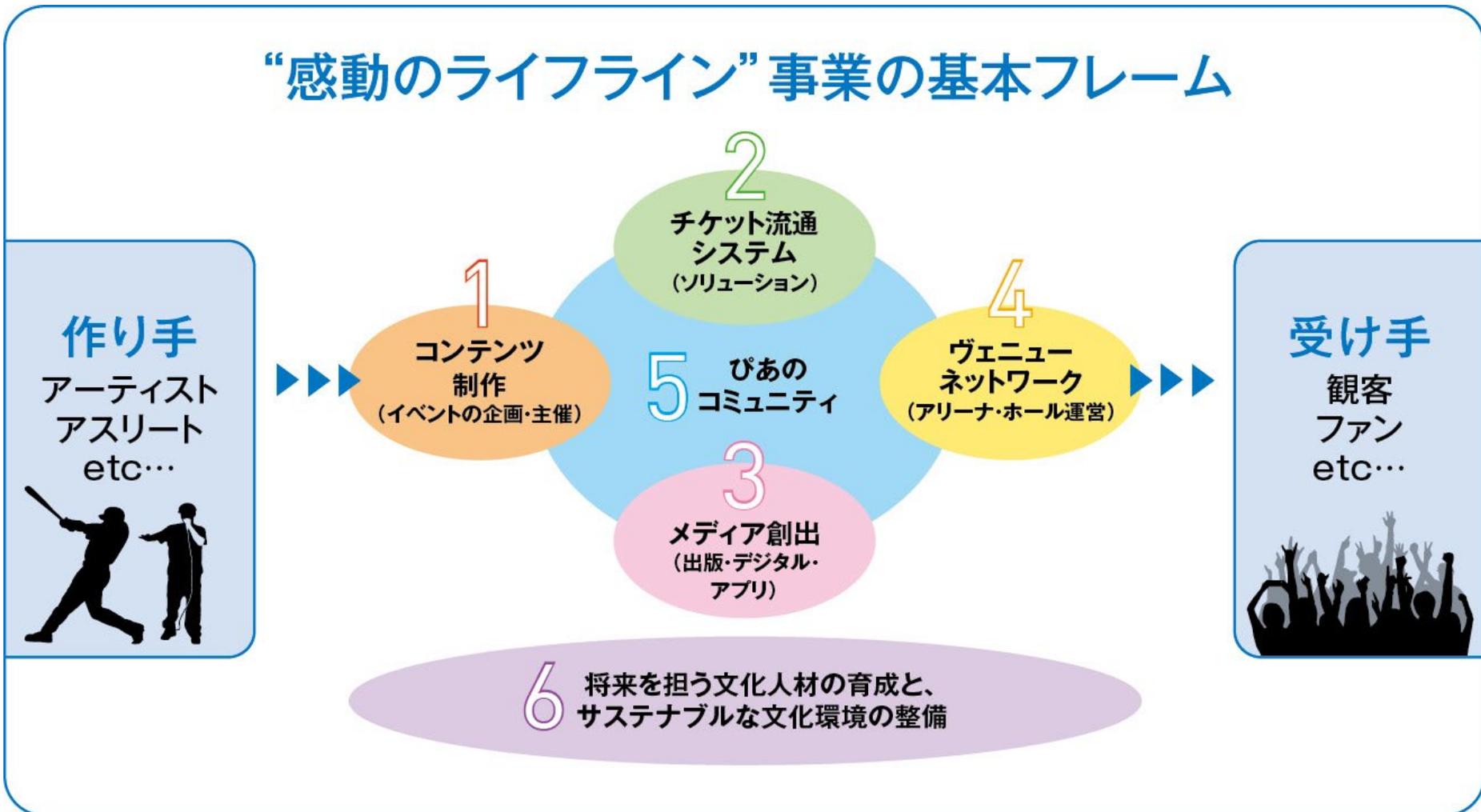
パラ・デフアスリートを新規採用。アスリートとしての競技活動を支援



▲2025年2月～3月に計5名が入社
デフ陸上日本選手権男子200mで
当社所属の山田真樹選手が優勝▶

利益を求める「経済性」と、あり得べき社会の姿を求める「趣旨性」の両立を図りながら、集客エンタテインメントを通じた、“感動のライフライン”の構築を目指してまいります

“感動のライフライン”事業の基本フレーム





ご清聴ありがとうございました

